

メディカル・イノベーション研究所とは？

佐賀大学医学部とオプティムが未来型医療IoT/AIの共同研究において包括提携
『メディカル・イノベーション研究所』を設立



高度医療に向けた新たな知
見と研究

医療を担う人材の育成

臨床データや実践の場の提
供



佐賀大学医学部附属病院

Medical Innovation Lab

メディカル イノベーション 研究所



OPTiM[®]

IoT・AIのテクノロジー 知的

戦略・ノウハウの提供 医療

IoT・AI人材の育成支援

高度医療の実現・地域医療の連携強化に向け、
学術シーズとIoT/AIを融合した共同研究により、新たなイノベーションを創出する

— 未来型医療IoT・AIの活用で佐賀から世界をリードする —



◆ 世界中の医療向け画像診断支援AIアルゴリズムやPACS院内システムやモダリティなど利用可能

世界中のどの医療向け画像診断支援AIアルゴリズムでも、PACS（医療向け画像管理システム）などの院内システムやモダリティ（CTやMRI等）を問わずに利用できます。

◆ 最適なアルゴリズム選択による診療支援の精度向上

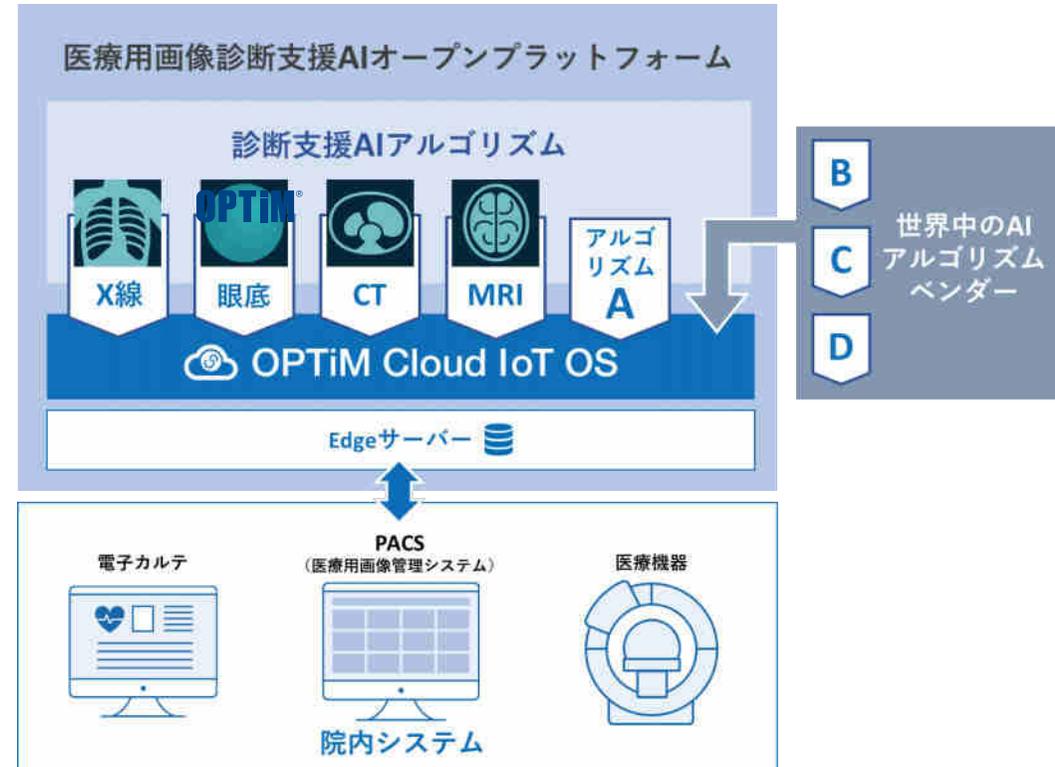
当プラットフォームにて、病院は自らの診療方針に従い、最適なアルゴリズムを選択し、診断支援、見逃し防止などに役立たせることができます。

◆ ベンチャー企業の参入や海外企業の日本進出を促進

アルゴリズム開発ベンダーは当プラットフォームを通じて、日本の医療機関の販路を確保することができ、営業リソースのないベンチャー企業や海外企業の参入、進出を促進します。

◆ 最適なAIアルゴリズムを自動選択 （特許第6404529号）

自動的に世界中のAIアルゴリズムから最適なAIアルゴリズムを選択し診断支援



2018年春サービスリリース予定

85歳以上の人口は、2035年には1,014万人へ（1990年は112万人）
それに伴い、85歳以上の要介護者は、約456万人（1990年は約50万人）にも達する

つまり1990年の10倍に要介護者が増える

また、労働人口は1990年の7,600万人から2035年には5,900万人に減少する
つまり対労働人口介護率0.6%（1990年）から7.7%（2035年）と約13倍に急拡大

高齢者は増加の一途



85歳以上の医療、介護の需要増



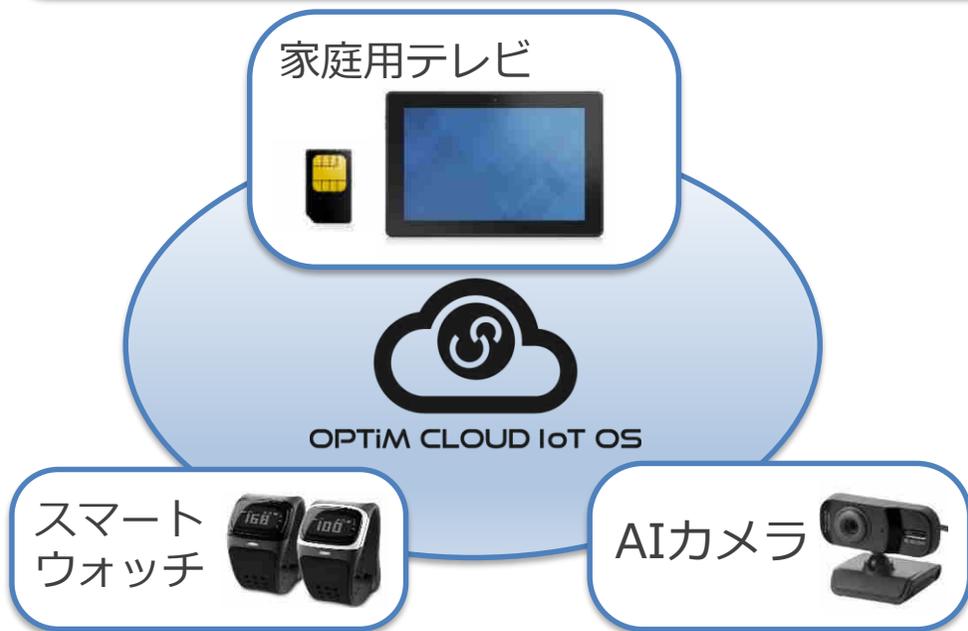
医療サービスの需要は増加し、働き手は減少していくが、

さらに！

25年政府目標、病床数を最大20万削減（全体の139万を119万に削減：-15%）
30万人を自宅や介護施設に（2016/6/15付 日経新聞）

在宅医療あんしんパック

在宅医療に必要な 遠隔診療機能、お声がけ機能、転倒などの異常検知機能、ナースコール機能などを備えた自宅に居ながら病院内で医者さんや看護師さんに見守ってもらっているような状態を実現するためのパッケージ。



機器	機能
テレビ	<ul style="list-style-type: none"> お声がけ機能 遠隔診療（かかりつけ医診療機能）
AIカメラ	<ul style="list-style-type: none"> 転倒検知(AI画像解析) 長時間不在検知(AI画像解析)
スマートウォッチ	<ul style="list-style-type: none"> ナースコール機能 バイタルデータ収集機能（心拍数、歩数、消費カロリー）

(1)お声がけ機能



(2)遠隔診療機能



(3)転倒検知



(4)長時間不動検知



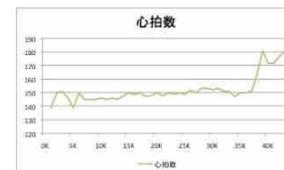
(5)長時間不在検知



(6)ナースコール機能

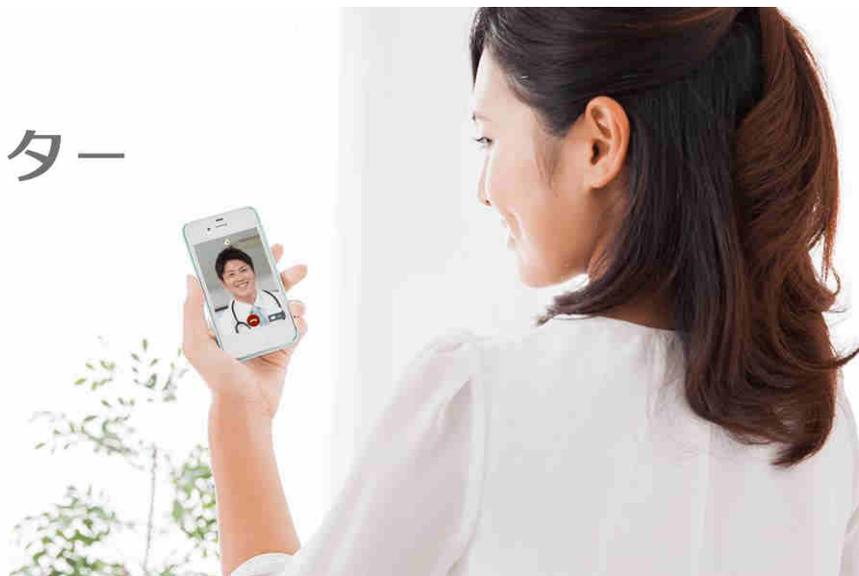


(7)バイタルデータ収集機能



日本初！スマホを用いた遠隔診療・健康相談サービス

 **ポケットドクター**

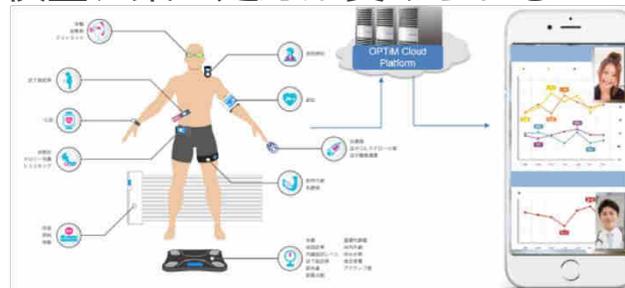


クラウド、IoTの活用で、時間も場所も選ばない医療へ

自宅に居ながら診察、健康診断、検査、薬の処方が受けられる



※時間も場所も選ばない医療のイメージ図です。



ヘルスケア機器、ウェアラブルデバイスとの連携

建設生産プロセス全体をつなぐ新プラットフォーム 「LANDLOG」の共同運営を発表

～コマツ・オプティム・NTTドコモ・SAPジャパンと合併会社設立～

KOMATSU

OPTiM

NTT docomo

SAP

LANDLOG

全ての建設に関わるプロセスを3Dデータでつなぐ
オープンプラットフォーム

建設業界での新しい世界標準を創ります